

# 財務諸表等

令和3年度  
(第9期事業年度)

自 令和 3年4月1日  
至 令和 4年3月31日

地方独立行政法人新小山市市民病院

## 目 次

貸借対照表	1～2ページ
損益計算書	3ページ
キャッシュフロー計算書	4ページ
利益の処分に関する書類	5ページ
行政サービス実施コスト計算書	6ページ
注記事項	7～9ページ
附属明細書	
(1) 固定資産の取得及び処分、減価償却費並びに減損損失の明細	11ページ
(2) たな卸資産の明細	12ページ
(3) 有価証券の明細	13ページ
(4) 長期貸付金の明細	14ページ
(5) 長期借入金の明細	15ページ
(6) 移行前地方債償還債務の明細	16ページ
(7) 引当金の明細	17ページ
(8) 資産除去債務の明細	18ページ
(9) 保証債務の明細	19ページ
(10) 資本金及び資本剰余金の明細	20ページ
(11) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	21ページ
(12) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	22ページ
(13) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	23ページ
(14) 地方公共団体等からの財源措置の明細	
①補助金等の明細	24ページ
②預り補助金等の明細	25ページ
(15) 役員及び職員の給与の明細	26ページ
(16) 開示すべきセグメント情報	27ページ
(17) 医業費用及び一般管理費の明細	28～29ページ
(18) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	30～32ページ
添付資料	
事業報告書	別添
決算報告書	別添
監査報告書	別添

## 貸借対照表

(令和4年3月31日 現在)

(地方独立行政法人新小山市民病院)

(単位：円)

科目	金額		
(資産の部)			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		892,000,000	
建物	3,731,689,333		
建物減価償却累計額	▲ 631,577,537	3,100,111,796	
構築物	497,301,620		
構築物減価償却累計額	▲ 200,994,513	296,307,107	
建物附属設備	3,243,941,886		
建物附属設備減価償却累計額	▲ 1,374,752,024	1,869,189,862	
器械備品	3,151,717,334		
器械備品減価償却累計額	▲ 2,499,509,332	652,208,002	
車両	5,907,157		
車両減価償却累計額	▲ 3,973,504	1,933,653	
有形固定資産合計		6,811,750,420	
2 無形固定資産			
電話加入権		322,000	
ソフトウェア		56,820,743	
無形固定資産合計		57,142,743	
3 投資その他の資産			
長期貸付金		135,763,045	
投資有価証券		200,000,000	
投資その他の資産合計		335,763,045	
固定資産合計			7,204,656,208
II 流動資産			
現金及預金		3,792,633,574	
未収入金	2,059,090,611		
貸倒引当金	▲ 15,015,047	2,044,075,564	
貯蔵品		31,196,814	
立替金		210,000	
流動資産合計			5,868,115,952
資産合計			13,072,772,160

## 貸借対照表

(令和4年3月31日 現在)

(地方独立行政法人新小山市市民病院)

(単位：円)

科目	金額		
(負債の部)			
I 固定負債			
資産見返負債	2,198,411,827		
長期借入金	2,643,351,398		
引当金			
退職給付引当金	1,836,946,821		
長期リース債務	547,899,242		
固定負債合計		7,226,609,288	
II 流動負債			
一年以内返済予定長期借入金	222,672,496		
未払金	1,043,589,880		
未払消費税及び地方消費税	9,575,400		
預り金	37,096,232		
短期リース債務	66,341,172		
引当金			
賞与引当金	272,716,000		
流動負債合計		1,651,991,180	
負債合計			8,878,600,468
(純資産の部)			
I 資本金			
設立団体出資金	658,143,744		
資本金合計		658,143,744	
II 資本剰余金	161,155,752		
資本剰余金合計		161,155,752	
III 利益剰余金			
積立金	2,345,759,432		
当期未処分利益	1,029,112,764		
(うち、当期総利益)	(1,029,112,764)		
利益剰余金合計		3,374,872,196	
純資産合計			4,194,171,692
負債純資産合計			13,072,772,160

## 損益計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(地方独立行政法人新小山市市民病院)

(単位：円)

科目	金額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	6,838,047,759		
外来収益	2,519,143,339		
その他医業収益	378,426,192		
保険等査定減	△23,059,393	9,712,557,897	
運営費負担金収益		176,991,000	
運営費交付金収益		40,231,000	
補助金等収益		962,141,136	
寄附金収益		560,000	
資産見返補助金戻入		160,728,778	
資産見返寄附金戻入		536,364	
受託事業等収入		16,228,261	
営業収益合計			11,069,974,436
営業費用			
医業費用			
給与費	4,902,127,627		
材料費	2,363,370,142		
経費	1,486,588,941		
研究研修費	16,160,827		
減価償却費	628,279,287		
資産減耗費	3,121	9,396,529,945	
一般管理費			
給与費	447,837,548	447,837,548	
営業費用合計			9,844,367,493
営業利益			1,225,606,943
営業外収益			
運営費負担金収益		162,778,000	
財務収益			
預金利息	307,781	307,781	
患者外給食収益		394,500	
その他営業外収益			
受託実習料	2,450,518		
院内駐車場使用料	3,436,416		
院内保育所保育料	3,307,916		
固定資産貸付料	10,134,059		
その他営業外収益	63,212,542	82,541,451	
営業外収益合計			246,021,732
営業外費用			
財務費用			
支払利息	41,918,488	41,918,488	
雑損失		400,597,423	
営業外費用合計			442,515,911
經常利益			1,029,112,764
臨時利益			
臨時利益合計			0
臨時損失			
過年度損益修正損			
臨時損失合計			0
当期純利益			1,029,112,764
当期総利益			1,029,112,764

キャッシュ・フロー計算書  
令和3年度分

直接法

(地方独立行政法人新小山市民病院)

(単位:円)

科 目	当 年 度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	▲ 2,590,034,347
人件費支出	▲ 5,241,135,494
その他業務支出	▲ 1,602,956,792
医業収入	9,740,448,136
運営費負担金収入	339,769,000
運営費交付金収入	40,231,000
補助金等収入	976,301,981
寄附金収入	560,000
その他業務収入	85,348,529
小 計	1,748,532,013
利息受取額	307,781
利息支払額	▲ 41,918,488
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,706,921,306
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲ 309,893,925
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	▲ 29,916,938
無形固定資産の売却による収入	0
投資その他の資産の取得による支出	▲ 18,120,000
投資その他の資産の売却による収入	9,615,945
定期預金の払い戻しによる収入	0
定期預金の預け入れによる支出	0
その他の投資活動による支出	0
その他の投資活動による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 348,314,918
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	928,800,000
短期借入金の返済による支出	▲ 928,800,000
長期借入金による収入	0
長期借入金の返済による支出	▲ 194,825,320
移行前地方債償還債務の償還による支出	0
その他財務活動による収入	0
その他財務活動による支出	▲ 80,286,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 275,111,532
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	1,083,494,856
V 現金及び現金同等物の期首残高	<u>2,709,138,718</u>
VI 現金及び現金同等物の期末残高	<b>3,792,633,574</b>

## 利益の処分に関する書類

(地方独立行政法人 新小山市民病院)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 当期未処分利益	1,029,112,764	
・当期総利益	1,029,112,764	
II 利益処分額		
積立金	<u>1,029,112,764</u>	<u>1,029,112,764</u>

# 行政サービス実施コスト計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(地方独立行政法人 新小山市民病院)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用			
医業費用	9,396,529,945		
一般管理費	447,837,548		
営業外費用	442,515,911		
臨時損失	0	10,286,883,404	
(2)自己収入等(控除)			
医業収益	▲ 9,712,557,897		
営業収益	▲ 17,324,625		
営業外収益	▲ 83,243,732		
臨時収益	0	▲ 9,813,126,254	
業務費用合計			473,757,150
II 引当外退職給付増加見積額			0
III 機会費用			
地方公共団体財産の無償とされた使用料 による賃借取引の機会費用	0		
地方公共団体出資の機会費用	1,434,753		
通常よりも有利な条件による融資取引の 機会費用	2,024,784		3,459,537
IV 行政サービス実施コスト			477,216,687

(注1) 地方公共団体出資の機会費用については、貸借対照表資本の部“設立団体出資金”658,143,744円を令和4年3月末時点の新発10年物国債金利0.218%にて運用した場合の年間受取利息を採用しました。

(注2) 通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用は、栃木県からの無利子短期貸付金928,800,000円を令和4年3月末時点の新発10年物国債利率0.218%で借り入れた場合年間支払利息を採用しました。

(注3) 平成28年4月1日より小山市役所からの出向者は不在となったことから、“引当外退職給付増加見込額”の計上は無く、職員全員分の退職手当を引当しております。

## 注記事項

### I 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準  
期間進行基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下の通りであります。

建物	37年～46年
建物附属設備	7年～14年
構築物	9年～34年
器械備品	1年～10年
車両運搬具	6年

(2) 無形固定資産

本勘定は、非償却資産である電話加入権と償却資産であるソフトウェアとなっております。  
ソフトウェアの減価償却方法は、定額法を採用しております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

職員の退職給付に備える為、当事業年度における退職給付債務の見積額に基づき計上しております。  
数理計算上の差異は、発生時に全額を費用処理しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- |          |                |
|----------|----------------|
| (1) 医薬品  | 先入先出法によっております。 |
| (2) 診療材料 | 同上             |
| (3) 貯蔵品  | 同上             |

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

- (1) 地方公共団体財産の無償とされた使用料による貸借取引の機会費用  
不動産及び動産については、減価償却費相当額を計上しております。
- (2) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率  
10年利付国債の令和4年3月末における利回りを参考に0.218%で計算しております。
- (3) 政府又は地方公共団体等からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用  
の計算に使用した利率  
10年利付国債の令和4年3月末における利回りを参考に0.218%で計算しております。

8. リース取引の会計処理

ファイナンス・リース取引の対象は、建物、建物附属設備、器械備品となっております。これらの対象物の減価償却方法は、全て定額法を採用しております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II キャッシュフロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	3,792,633,574円
資金期末残高	3,792,633,574円

2. 重要な非資金取引

該当ありません

III 退職給付関係

1. 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	1,836,946,821円
未認識数理計算上の差異	0円
退職給付引当金	1,836,946,821円

2. 退職給付費用に関する事項

勤務費用	185,603,928円
利息費用	1,025,933円
数理計算上の差異の単年度処理額	9,272,704円

計 195,902,565円

3. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

割引率	イールドカーブ方式(2022年3月31日時点)を採用
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
数理計算上の差異の処理年数	本年度一括償却

IV 固定資産の減損関係

該当ありません。

V オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

VI 金融商品に関する事項

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人の資金調達については、地方独立行政法人新小山市市民病院会計規程に沿って実施しております。

また、医業未収金については、地方独立行政法人新小山市市民病院債権管理事務取扱要領に従い、リスク管理を行っております。

移行前地方債償還債務及び長期借入金の用途は、医療機器の設備更新等であり、設立団体である小山市の事前承認に基づいて借入を実施しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

当事業年度末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。なお、重要性の乏しいものについては、注記を省略しております。

(単位:千円)

	開示科目	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)	現金及び預金	3,792,634	3,792,634	0
(2)	医業未収入金	1,526,809	1,526,809	0
(3)	その他の未収入金	532,281	532,281	0
	資産計	5,851,724	5,851,724	0
(1)	長期借入金(※)	2,866,024	2,975,083	109,059
(2)	未払金	1,043,590	1,043,590	0
	負債計	3,909,614	4,018,673	109,059

(※)1年以内返済予定の債務を含めています。

### (注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### 資産

(1)現金及び預金、(2)医業未収入金、(3)その他の未収入金

これらは短期間で決済される為、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格によっております。

#### 負債

(1)長期借入金

これらの時価は、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(2)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格と近似していることから、当該帳簿価格によっております。

## Ⅶ 重要な債務負担行為

当該事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支出が発生する重要なものは下記のとおりです。

(単位:千円)

契約内容	契約期間	契約額(税抜)	翌事業年度以降支払予定額(税抜)
エネルギーサービス事業(15年)	H27.10.1~R12. 9.30	1,464,372	829,811
施設管理業務委託(3年)※1	H31.4.1~R5.3.31	144,000	36,000
清掃業務委託(3年)※1	H31.4.1~R5.3.31	174,804	45,204
院内保育園運営業務委託(管理費)(4年)※2	R2.4.1~R6.3.31	出来高	60,751
医事業務及び夜間受付業務委託(3年)※1	H31.4.1~R5.3.31	562,260	143,640
SPD業務委託(4年)※1	H30.4.1~R5.3.31	132,000	26,400
患者給食業務委託(管理費)(4年)	R4.4.1~R8.3.31	336,000	336,000

(※1)施設管理業務委託、清掃業務委託、医事業務及び夜間受付業務委託、SPD業務委託は令和3年度末(R4.3.31)に契約期間満了を迎えましたが、コロナ感染症による影響を最小限に抑えるため、1年間の契約延長を実施しました。なお契約額については、令和4年度分を追加して記載しております。

(※2)院内保育園運営業務委託(管理費)は出来高契約であるため、翌事業年度以降支出予定額は令和3年度の実績額(年額)に残りの契約期間(年)を乗じて算出しております。

## Ⅷ 重要な後発事象

該当ありません。